



渋谷登美子 議員

# 答 体罰は暴力・広報など何らかの方法で啓発する

## 「しつけに体罰は必要」

体罰は、エスカレートすると、虐待になる！

**問** 体罰による子どもの基本的信頼感喪失についての教育委員会の考え方は。

**答** 教育長 体罰は具体的に殴る・ケルなどの暴力行為と長時間にわたる正坐等の肉体的苦痛を与えることをいう。体罰は違法行為で、子どもたちの心身の成長に悪影響をあたえる。学校では教職員や学校への信頼を失速させる行為で、子どもたちに力による解決、いじめや暴力行為に発展する。教職員は子どもたちへの適切な

信頼関係をつくることが重要である。体罰で子どもを教育することはできない。

**問** 体罰についての啓発は。

**答** 教育長 嵐山町では、町内全小学校における就学時検診で全保護者を対象にキヤッププログラム(子どもへの暴力防止プログラム)で親の学習講座を開催している。

**問** 厚生労働省では「愛の鞭ゼロ作戦」のリーフレットやポスターで啓発している。嵐山町広報においても、体罰についてのよいレポートがされていた。少し古い資料で、体罰はしつけに必要と考える人が75%だった。

子どもへの体罰は親の暴力であることが一般に受け入れられるのは難しい。前会の嵐山町議会においても体罰防止法制定を求める意見書提出は否決された。どのように行うか。

**答** 教育長 各家庭で子どもの置かれている状況は把握しにくい。防止というより、こどもの安全な生活を守るために身体に痣などがあると報告があり、子育て支援課・小川警察などと連携して継続されないように対応をとる。



「愛の鞭ゼロ作戦」健やか親子21ホームページより引用



松本 美子 議員

# 答 多目的に利用している

## 北部交流センターの利用は

いじめは、なぐりや

**問** 北部交流センターはリニューアル後生涯学習の文化と活動の拠点となり多目的に利用されております、利用状況は。

(1) 通年利用は。  
(2) 鍵の開け締め周知は。  
(3) 閉鎖後の簡易郵便局の今後は。  
(4) 高齢者向け事業は。

**答** 文化スポーツ課長 (1) 29年度21団体で月1回以上9団体です。  
(2) 利用者に説明用紙を渡し、やすらぎ施設で対応。  
(3) 31年度早々に各課の希望の有無を踏まえ、

利用方法を運営協議会に諮る。  
(4) 長寿生きがい課で認知症予防。脳の健康教室、元気はつらつ体操を開催。

**問** 不登校やいじめは

**答** 連絡協議会、基本方針の内容は。  
**問** 教育長 いじめ問題対策連絡協議会等条例6月発足。いじめ防止対策基本法は国及び県の改訂を受け、平成30年1月決議。3つの基本方針。  
(1) 全ての児童生徒に関係。  
(2) すべての児童生徒がいじめを行わず、認知しながら放置しない。

(3) いじめを受けた児童生徒の生命、心身を保護する学校、地域住民、家庭等の連携が重要です。

**問** 不登校、いじめに素早い対応を。

**答** 教育長 スクールソーシャルワーカー、スクールパートナー、さわやか相談員、スクールカウンセラーを配置し、いじめの予防・防止早期発見に向け情報連携や協力をお願いして、保護者からの相談や該当家庭への訪問を行なう。



菅谷中学校の授業風景＝H30. 5. 11

## 里山の保全と管理を

**問** 土地の所有者の高齢化に伴い山林の保全と管理が困難です。里山平地林再生事業の取り組みは。

**答** 農政課長 28年度より県補助金を受け、29年度60・7ha実施。30年度実施中ですが、10ha12ヶ所整備しました。今後県が事業を継続している間は森林整備を推進する。

**問** 役場下の町道は通学路です。森林再生事業で整備が出来るか。

**答** 農政課長 担当課とも相談の上、決定する。